

尾道銀行事始め 明治11年—昭和20年

会期：令和4年2月23日(水・祝)—3月27日(日)
休館日：火曜日

休館日/火曜日 入館料/一般 210円 (20名以上の団体 170円) 共通 520円 (おのみち映画資料館も観覧できます)

※ 中学生以下無料 ※ 障がい者とその介護者各1名は無料です。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。

※ スマートフォンアプリ「ミライロID」も利用できます。



おのみち歴史博物館

〒722-0045 広島県尾道市久保1丁目14-1
お問い合わせは 尾道市役所文化振興課文化財係まで Tel. (0848) 20-7425

おのみち歴史博物館では、「尾道銀行事始め 明治11年～昭和20年」展を開催します。

江戸時代、広島藩の商都尾道は、北前船の寄港地としてさまざまな物品を取り扱うとともに、金融関連の取引をおこなう瀬戸内海有数の港町でした。

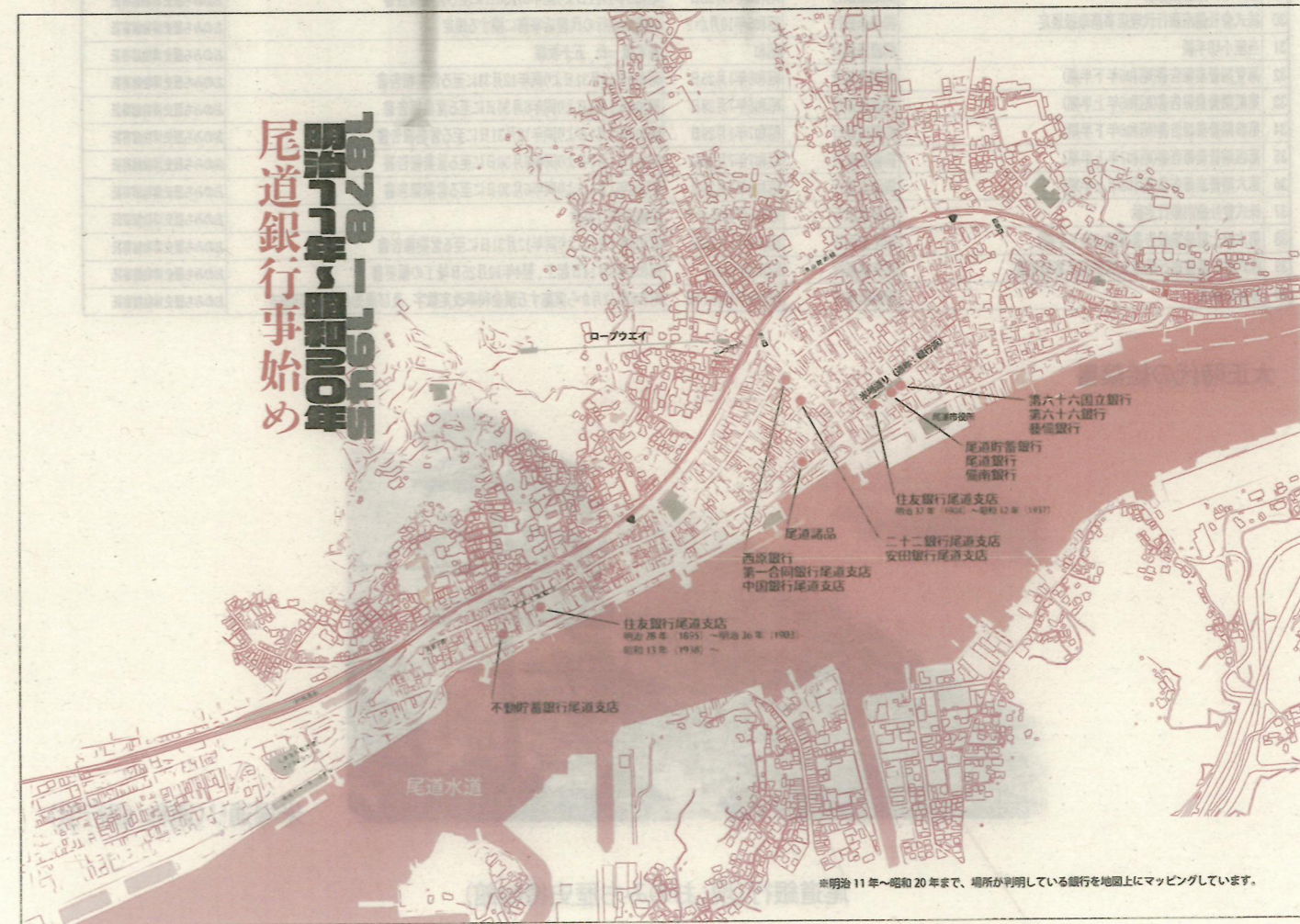
明治維新後、政府は新国家建設のため西洋諸国の制度を導入するなかで、経済活動の根幹である通貨制度の単位を「円」とし、明治7年に国立銀行条例が公布され、明治11年に東京株式取引所(現東京証券取引所)が設立されるなど金融関連の近代化が速やかに図られました。

経済の有様が目まぐるしく様変わりするなか、尾道に経済インフラの基幹となる「銀行」が広島県内で初めて設立されました。広島県内で初となったのは、広島市は江広島藩時代での政治的中心地であり、商業の中心であった尾道の方が「経済力」を有していたための必然でした。

尾道の銀行の歴史は、明治11年の第六十六国立銀行の設立をはじめとなり、以後、JR尾道駅から市役所までの海岸地域に、尾道銀行の前身である尾道貯蓄銀行や住友銀行尾道支店などが設立され、特に米場通り一帯が通称「銀行浜」と呼ばれるほど活況を呈します。

本展は、明治初期の銀行設立から、昭和10年代末に推進された「1県1行主義」によって銀行が合併・買収された昭和20年までを、当館が収蔵する「田辺良平コレクション」(寄託)と尾道市史編さん事務局が所蔵する資料を中心に振り返ろうと試みるものです。

1878-1945



尾道銀行事務 明治11年-昭和20年 資料リスト

資料名	年代	内容等	所蔵
1 第六十六国立銀行創立証書	第六十六国立銀行 明治11(1878)		尾道市史編さん事務局蔵
2 第六十六国立銀行定款	第六十六国立銀行 明治11(1878)		尾道市史編さん事務局蔵
3 第六十六国立銀行当座為換差引表	第六十六国立銀行 明治20(1887)		尾道市史編さん事務局蔵
4 国立第六十六銀行外観写真	第六十六国立銀行		尾道市史編さん事務局蔵
5 大政官布告第六号御布告 銀行条例成規 布告全報第四十九号附録	明治9(1876)頃		尾道市史編さん事務局蔵
6 大政官第六百六号御布告 国立銀行条例 布告全報第四十九号附録	明治9(1876)頃		尾道市史編さん事務局蔵
7 損減銀行紙幣引換方ノ事 他	明治9(1876)頃		尾道市史編さん事務局蔵
8 株式会社第六十六銀行定款	第六十六銀行 明治30年7月1日か?	第六十六銀行定款	おのみち歴史博物館寄託
9 第九期営業報告書(明治32年下半期)	尾道貯蓄銀行 明治32年12月31日	明治32年7月1日より同年12月31日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
10 第十期営業報告書(明治42年下半期)	尾道貯蓄銀行 明治42年12月31日	明治42年7月1日より同年12月31日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
11 第十一期営業報告書(明治廿九年下半期)	尾道貯蓄銀行 明治29年未か	明治29年7月1日より同年12月31日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
12 大正五上半期営業成績各支店報告書類	尾道貯蓄銀行 大正5年6月30日	広島支店発送の封筒入り。福山支店・広島支店・府中支店・水主出張所・京橋出張所の損益計算書など、営業報告書の元になる書類	おのみち歴史博物館寄託
13 広島支店第二期営業報告書	尾道貯蓄銀行 明治29年6月30日	明治29年1月1日より同年6月30日に至る広島支店の営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
14 福山支店第二期営業報告書(明治29年上半期)	尾道貯蓄銀行 明治29年6月30日	明治29年1月1日より同年6月30日に至る福山支店の営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
15 第七期営業報告書(明治28年1月20日)	尾道貯蓄銀行 明治28年1月20日	明治28年1月1日より同年12月31日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
16 各支店別営業成績等	尾道貯蓄銀行 大正5年6月か	表紙・日付がないが、第12期営業報告書の数字と一致する	おのみち歴史博物館寄託
17 定款改定ノ件	尾道貯蓄銀行	原稿らしい。記載する内容を鉛筆でメモ書きしている。	おのみち歴史博物館寄託
18 供託証券一覽表(?) (メモ書)	尾道貯蓄銀行 不明	各社株券の額面、原価、担保金額が一覽表に。	おのみち歴史博物館寄託
19 大正五上半期計算資料	尾道貯蓄銀行 大正5年		おのみち歴史博物館寄託
20 第四十二期営業報告書の原稿(大正五上半期)	尾道貯蓄銀行 大正5年6月30日	大正5年1月1日より同年6月30日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
21 大正五上半期計算書の監査依頼書	尾道貯蓄銀行 大正5年7月8日	専務取締役より監査役へ。	おのみち歴史博物館寄託
22 大正五年七月八日付提出書類の監査証明書	尾道貯蓄銀行 大正5年7月8日	監査役より専務取締役へ。	おのみち歴史博物館寄託
23 明治36年6月30日付で提出された各支店・営業所の営業報告書	尾道貯蓄銀行 明治37年6月30日	広島・三津・福山・府中各支店、及び京橋出張所の貸借対照表、損益計算表等	おのみち歴史博物館寄託
24 大正5年6月30日付で提出された各支店・営業所の営業報告書	尾道貯蓄銀行 大正5年6月30日	広島・福山・府中各支店、水主町出張所の貸付金一覽表、府中支店・京橋出張所の割引手形等	おのみち歴史博物館寄託
25 第四十二期営業報告書(大正五上半期)原稿?	尾道貯蓄銀行 大正5年6月30日	大正5年1月1日より同年6月30日に至る営業報告書、「営業の景況」のメモ書き	おのみち歴史博物館寄託
26 大正五上半期各支店・営業所雑費等報告書	尾道貯蓄銀行 大正5年6月30日	各支店・営業所の雑益、雑給、雑費、租税等	おのみち歴史博物館寄託
27 第四十二期営業報告書(大正五上半期)原稿?	尾道貯蓄銀行 大正5年6月30日	大正5年1月1日より同年6月30日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
28 第四十二期貸借対照表等	尾道貯蓄銀行 大正5年6月30日	貸借対照表、損益計算表、財産目録	おのみち歴史博物館寄託
29 第六十六期営業報告	尾道銀行 昭和3年7月22日	昭和3年1月1日より同年6月30日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
30 株式会社備南銀行代理店事務取扱規定	備南銀行 昭和5年10月か?	備南銀行の代理店事務に関する規定	おのみち歴史博物館寄託
31 当座小切手帳	備南銀行 昭和	橋本龍一氏 五十枚帳	おのみち歴史博物館寄託
32 第三期営業報告書(昭和5年下半期)	備南銀行 昭和6年1月25日	昭和5年10月31日より同年12月31日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
33 第四期営業報告書(昭和6年上半期)	備南銀行 昭和6年7月28日	昭和6年1月1日より同年6月30日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
34 第五期営業報告書(昭和6年下半期)	備南銀行 昭和7年1月29日	昭和6年7月1日より同年12月31日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
35 第六期営業報告書(昭和7年上半期)	備南銀行 昭和7年7月28日	昭和7年1月1日より同年6月30日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
36 第七期営業報告書(昭和8年上半期)	備南銀行 昭和8年7月29日	昭和8年1月1日より同年6月30日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
37 株式会社備南銀行定款	備南銀行 昭和5年10月か?	備南銀行定款	おのみち歴史博物館寄託
38 第六拾七期営業報告書(昭和3年下半期)	尾道銀行 昭和4年1月26日	昭和3年7月1日より同年12月31日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
39 株式会社備南銀行尾道支店新築工事概要書	備南銀行 昭和3年9月か	昭和3年9月14日竣工、翌4年10月25日竣工の概要書	おのみち歴史博物館寄託
40 預金利率表	備南銀行 昭和6年12月14日	昭和6年12月から実施する預金利率改定数字、及び周知広告の切り抜き	おのみち歴史博物館寄託

資料名	年代	内容等	所蔵
41 支店長会議指示事項	備南銀行か 昭和8年7月29日	各支店の営業成績、債権処理等。	おのみち歴史博物館寄託
42 株式会社備南銀行役員員名簿	備南銀行 昭和7年1月1日	昭和6年12月15日現在の名簿	おのみち歴史博物館寄託
43 備南銀行東尾道支店より備南銀行甲山支店へ 株券受取証	備南銀行 昭和20年5月17日	株主 島原傳右衛門氏、島原ハスエ氏、國利美氏所有の備南銀行株券を芸備銀行株券に変更の為。	おのみち歴史博物館寄託
44 提供株券領収証	備南銀行 昭和20年3月	株主 島原傳右衛門氏、53株分	おのみち歴史博物館寄託
45 提供株券領収証	備南銀行 昭和20年3月	株主 島原ハスエ氏、50株分	おのみち歴史博物館寄託
46 提供株券領収証	備南銀行 昭和20年	株主 原田玄良氏、1株分	おのみち歴史博物館寄託
47 提供株券領収証	備南銀行 昭和20年	株主 土屋卯三郎氏、13株分	おのみち歴史博物館寄託
48 提供株券領収証	備南銀行 昭和20年3月	株主 島原龍市氏、2株分	おのみち歴史博物館寄託
49 株式会社尾道貯蓄銀行印		持ち手は木製、印章部分は象牙か	おのみち歴史博物館寄託
50 株式会社尾道銀行印		持ち手は木製、印章部分は象牙か	おのみち歴史博物館寄託
51 株式会社備南銀行印		持ち手は木製、印章部分は象牙か	おのみち歴史博物館寄託
52 株式会社備南銀行矢野支店印		持ち手・印章が一体、色は黒。象牙か	おのみち歴史博物館寄託
53 株式会社尾道銀行印		持ち手は木製、印章部分は象牙か	おのみち歴史博物館寄託
54 株式会社備南銀行印		持ち手は木製、印章部分は象牙か	おのみち歴史博物館寄託
55 株式会社備南銀行矢野支店印		持ち手は木製、印章部分は象牙か	おのみち歴史博物館寄託
56 矢野支店印		持ち手・印章が一体、色は黒。象牙か	おのみち歴史博物館寄託
57 株式会社尾道銀行 営業室	大正時代		おのみち歴史博物館寄託
58 株式会社尾道銀行本店内部	昭和2年	紙幣が額上げられ、中央に頭取島居幸雄氏、左に常務黒瀬増太郎氏、他職員の写真。取り付けに備えている。	おのみち歴史博物館寄託
59 株式会社尾道銀行(外観)	大正11年以降		おのみち歴史博物館寄託
60 備南銀行尾道支店(外観)	昭和4年以降		おのみち歴史博物館寄託
61 備南銀行尾道支店 営業室	昭和4年以降		おのみち歴史博物館寄託
62 備南銀行尾道支店 会議室	昭和4年以降		おのみち歴史博物館寄託
63 備南銀行定款	備南銀行 大正11年1月か?	山岡銀行定款	おのみち歴史博物館寄託
64 第四拾九期営業報告書(大正11年上半期)	備南銀行 大正11年6月30日	大正11年1月1日より同年6月30日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
65 第五拾期営業報告書(大正11年下半期)	備南銀行 大正11年12月31日	大正11年7月1日より同年12月31日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
66 第五拾壹期営業報告書(大正12年上半期)	備南銀行 大正12年7月	大正12年1月1日より同年6月30日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
67 第五拾貳期営業報告書(大正15年上半期)	備南銀行 大正15年7月25日	大正15年1月1日より同年6月30日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
68 株式会社山岡銀行株券(額面金五拾圓)	大正12年	中土居助市購入	おのみち歴史博物館寄託
69 株式会社山岡銀行株券(額面金五拾圓)	大正12年11月11日	木原武雄氏購入	おのみち歴史博物館寄託
70 備南銀行甲山支店 株券受取証	昭和20年3月30日	株主 木原武雄氏。旧山岡銀行の株券と備南銀行の株券を交換した受取証	おのみち歴史博物館寄託
71 第三期営業報告書(昭和6年上半期)	備中国銀行 昭和6年7月	昭和6年1月1日より同年6月30日に至る営業報告書	おのみち歴史博物館寄託
72 住友家紋入り瓦(井桁) 明治初期・住友家尾道支店	備住友銀行 明治時代		おのみち歴史博物館寄託
73 住友銀行尾道支店本館及附属家計画縮尺百分ノ一写	備住友銀行 明治時代	[住友合資会社工作部建築課 第17号]印	三井住友銀行尾道支店蔵
74 訂正図 住友銀行尾道支店平面図 縮尺一百分ノ一 住友銀行尾道支店平[以降欠落] 尾道銀行支店改築模様変更平面図	備住友銀行 明治時代	[住友合資会社工作部建築課 第16号]印	三井住友銀行尾道支店蔵
75 記念写真(尾道同盟銀行秋季運動会、場所不明)			三井住友銀行尾道支店蔵
76 住友銀行尾道支店営業室内	備住友銀行		三井住友銀行尾道支店蔵
77 旧住友銀行尾道支店 棟札	備住友銀行	米場通り(通称:銀行浜)時代の支店(現尾道市労働センター)の棟札	尾道市蔵
78 旧住友銀行尾道支店 昭和天皇・尾道行幸の際に墮った椅子	備住友銀行 昭和22年(1947)		おのみち歴史博物館蔵

※ 尾道市史編さん事務局蔵は大蔵忠兵衛旧蔵
※ おのみち歴史博物館寄託は田辺良平コレクション

■エントランスホール「尾道の出土文化財」

[尾道遺跡出土文化財(日本遺産構成文化財)]

番号	資料名	員数	備考
1	白磁印花双鳥文碗	1点	
2	土師質土器碗	1点	
3	土師質土器皿	2点	
4	瓦質土器播鉢	1点	
5	中国製青磁碗	4点	
6	中国製白磁皿	1点	
7	中国製白磁皿	2点	
8	常滑焼大甕片	3点	
9	軒丸瓦	4点	
10	軒丸瓦	5点	

11 常称寺本堂龍頭瓦 1点

出土地点: 尾道市御調町貝ヶ原

番号	資料名	員数	備考
12	広島県重要文化財「貝ヶ原遺跡出土の特殊器台形土器」	1点	

13	尾道市重要文化財「紙本着色尾道絵屏風」美術陶板 六曲一隻 安永3年(1774) 70.4×205.0cm 浄土寺蔵	尾道ロータリークラブ、尾道東ロータリークラブ 共同寄贈(2005)
----	--	-----------------------------------

大正時代の絵葉書



米場通り(通称:銀行浜)

尾道銀行(現:おのみち歴史博物館)

現在・尾道市役所のある場所



おのみち歴史博物館